

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡  
 ( J A S D A Q ・ コ ー ド 5 2 1 6 )  
 問 合 せ 先 取 締 役 経 理 部 長 関 根 紀 幸  
 電 話 0 2 2 8 3 2 5 1 1 1

### 特別損失の計上および通期（連結・個別）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 12 月期通期決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 8 月 7 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の発生およびその内容

##### 固定資産除却損

当社の構造改革に伴う工場の集約化等により遊休化した設備について、今後の使用見込のないものを固定資産除却損として連結および個別の特別損失に 25 百万円を計上いたします。

##### 貸倒引当金繰入

当社および連結子会社における債権の回収の可能性を見直した結果、貸倒引当金繰入として個別の特別損失に 64 百万円および連結の特別損失に 75 百万円を計上いたします。

#### 2. 通期業績予想の修正

##### 修正内容

平成 21 年 12 月期の連結通期業績予想（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,500	0	0	700	70 円 76 銭
今回発表予想 (B)	13,850	192	358	881	89 円 05 銭
増減額 (B - A)	1,350	192	358	181	18 円 29 銭
増減率 (%)	10.8	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	21,641	250	44	287	29 円 01 銭

平成 21 年 12 月期の個別通期業績予想（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,000	4,900	100	200	700	70 円 76 銭
今回発表予想 (B)	11,219	4,870	505	670	1,058	106 円 94 銭
増減額 (B - A)	1,219	30	405	470	358	33 円 05 銭
増減率 (%)	12.2	0.6	-	-	-	- 0
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	16,971	8,872	60	244	182	18 円 43 銭

## 修正の理由

### 〔連結〕

連結売上高につきましては、[ ガラス基板加工販売事業 ]において材料が有償支給である製品の受注増により増収となったほか、[ 精密研磨布等製造販売事業 ]がハードディスクドライブのディスク向け精密研磨布の受注が堅調に推移したことから、前回発表予想に対し 1,396 百万円増の 13,896 百万円となります。

利益面では、[ 精密研磨布等製造販売事業 ]が市場の急回復による売上増と抜本的改善活動の成果で予想を上回る利益を確保したものの、[ ガラス基板加工販売事業 ]においては利益との関係が深い加工売上高が伸び悩んだこと、急激な受注変動と販売価格の低下が採算効率を悪化させたことならびに新規案件の量産化が遅れたこと等により、営業損失は前回発表予想に対し 192 百万円増の 192 百万円に、経常損失は 358 百万円増の 358 百万円となります。当期純損失は、上記損失の増加に加え 1. に記載の特別損失の計上もあり、前回発表予想に対し 181 百万円増の 881 百万円となります。

### 〔個別〕

個別の売上高は、中小型液晶ディスプレイ (LCD) 向けガラス基板の需要回復に伴い、前回発表予想に対し 1,219 百万円増の 11,219 百万円となりますが、利益との関係の深い加工売上高は、30 百万円未達の 4,870 百万円となります。売上高の増額幅が大きいのは、受注した製品構成において材料が有償支給である製品の比率が増加したためであります。

利益面においては、希望退職の募集をはじめとする収益基盤強化のための構造改革施策を強力に推進したものの、前述の理由により利益面は厳しい状況となり、営業損失は前回発表予想に対し 405 百万円増の 505 百万円に、経常損失は 470 百万円増の 670 百万円となります。当期純損失は、上記損失の増加に加え 1. に記載の特別損失の計上等の影響により 358 百万円増の 1,058 百万円となります。

以 上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。
---